

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ぼっぼハウス（児童発達支援）		令和 7年 3月 5日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	○		支援室は、十分なスペースがありクールダウンができるスペースもあります。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		指定基準以上の職員の配置をしています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		こどもにわかりやすく過ごせるよう構造化しています。バリアフリーで、環境上の配慮を適切に行っています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔に整え、活動内容に合わせて環境を整えています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて、個別の部屋やクールダウンスペース等に使用できる環境となっています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		目標設定と振り返りを大切にして、日々行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表の結果を参考に、意向等を把握し検討して業務の改善につなげています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の振り返りの時や、スタッフ会議にて意見等を把握し、業務改善へとつなげています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価をしていません。	外部評価の機関を検討しています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内の研修部が中心となり研修計画をたて、法人内研修実施と各種研修にも参加しています。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		個別支援計画更新時（2回/年）保護者との面談の中で、ニーズを聴き取りケース会議で個別サービス計画を検討、評価も作成します。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		スタッフ会議・ケース会議等でスタッフが共通理解をもって、計画書の内容検討、作成を行っています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		会議等を通して、計画を共有し計画に沿った支援が行えるようにしています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		行動観察や保護者からの聴き取り面談を行い、情報収集しアセスメントを行っています。発達検査については、結果を共有し支援にいかします。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		計画は、5領域を含めた本人支援、家庭支援、移行支援、地域支援のねらい、支援内容をふまえて設定しています。支援内容を具体的にわかりやすく設定しています。	

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	活動ごとに担当者が立案し、話し合いをして計画を立てています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	様々な経験や体験ができるように、内容が固定しないようにいろいろと工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	子どもの体調や状況に配慮して、集団・個別活動を行うよう計画し支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	支援前は必ず、支援の内容や役割分担の確認。事故など起こらないように、問題や課題について密に話し合い支援にあたっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	その日、もしくは翌日に、報告や気づきをスタッフ間で情報交換を行い、支援に役立てています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	日々の支援の記録をとることで、支援が適切に行われていたかを検証し、改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的にモニタリングを行い、計画の評価をしています。月1回のケース会議の中で、見直し判断しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者を中心に直接支援している者が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	医療や保育、教育等機関との情報共有や連携が大切であると望んでいますが、体制を整えるまでには至っておりません。	各関係機関と連携して支援を行いたいと思っていますが、体制までは整っていません。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	利用児の様子や、利用についてなど保育園や幼稚園と連絡を取り合い共有しています。支援内容の共有や相互理解までには至ってません。	今後は、保育所や認定こども園等と情報共有と相互理解を行っていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		情報共有と相互理解に努めたいと思います。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		子ども総合支援センターきらりや他の児童発達支援事業所に相談し、助言を受けたいと考えています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	現在、利用している利用児は保育所、認定こども園に通園されていますので活動する機会を設けていません。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	電話連絡や連絡ノートにて、日々の様子を伝え、発達状況や日々の様子、課題について共通理解をもっています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	ペアトレーニングは、行えていませんが家族の参加できる研修などの情報提供は行っています。	家族が子どもの変化やトラブルに柔軟に対応する力をもてるよう家族支援していきます。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	運営規定、利用者負担金等に加えて支援プログラムも丁寧に説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	子どもや家族の意向を計画書に記載し、支援計画を作成しています。設定した目標に対して、支援方法や支援内容の優先順位を踏まえ計画しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	放課後等デイサービス計画は、対面にて説明し同意をいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	定期的には行えていませんが、要望があれば、相談は随時行っています。	普段と様子が違うときなどは、連絡をして、家庭での様子等を聞き取るようにしています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	父母会などの保護者の交流する機会を設けていません。	今後は、参観日や法人の「おまつり」で保護者やきょうだい同士の交流などの機会を設けることができると思います。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	相談や苦情の体制整備を行い、解決手順は玄関に掲示してあります。もし、相談や苦情があった場合は迅速に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	定期的に会報を発行しています。活動概要、行事予定や案内などはSNS等を活用して保護者に発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	契約時に個人情報について説明しています。取り扱いにも十分注意しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	意思の疎通や情報伝達を大切にしています。個別の対応を心掛けています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	毎年行っている「ぼっぼまつり」に招待をしています。地域のボランティア活動にも参加しています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	各種マニュアルを策定し、職員や利用者家族に周知しています。訓練や話し合いをしています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	BCPを策定し、研修、避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	利用開始時に利用登録個人票にて服薬等を確認し把握しています。病院受診後には、服薬や予防接種についての確認もしています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	保護者と相談の上、個別に対応しています。	アレルギーにつきましては、食物だけでなく花粉や動物などのアレルギーも把握し対応しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を作成し、安全管理を徹底し支援しています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	安全の確保に関して、家族等との連携など周知が足りないと思います。	今後は、安全計画に基づき安全の確保の内容を周知することで、家族等と連携していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハットは、スタッフ会議にて事例の把握、分析、対策を検討しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	特性の理解や支援のスキルアップ、事例検討などの研修を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	身体拘束適正化検討委員会にて、決定する準備はありますが身体拘束を行う事案がありません。		